

築地市場の豊洲移転

中止を含め本格的検討を

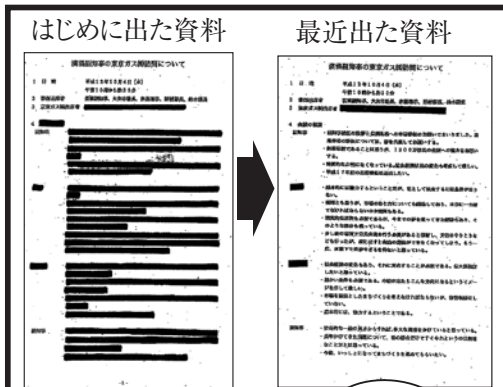
共産党都議団が

知事に提案

小池知事

「食の安全確保は最優先」
「総合的な観点で判断」

日本共産党都議団は12月7日の都議会代表質問で豊洲移転問題について小池知事に質問しました。質問で都議団は、土壌汚染対策の数々の欠陥などを示しながら「小池知事の移転延期の決断によって、ようやくまともな検討ができるようになった」と指摘。この10年余は、ウソやごまかしを重ねて、強引に移転計画が進められてきた」と指摘。移転中止を含めた計画の本格的検討を提案しました。これに対し小池知事は「食の安全・安心の確保は何よりも優先すべき課題」、「総合的な観点から移転の判断を行う」と答弁しました。



豊洲密室交渉、**黒塗り**はがれ
共産党入手資料で判明

- ◆共産党都議団「石原元知事らから聞き取りを」
- ◆小池知事「真しに考えたい」

代表質問で共産党都議団は、共産党の請求で都が開示した豊洲の用地取得をめぐる都と東京ガスの交渉記録（上記）を紹介。用地取得にかかわった石原元知事と浜渦元副知事から聞き取りを行うよう要求。小池知事は「ご指摘については真しに考えたい」と答えました。

命・健康守る都政改革へ

市場は50年、百年という単位の事業です。食の安全・安心はなんとしても確保されなければなりません。都は、東京ガス豊洲工場跡地への移転中止の本格的検討をすべきです。築地市場の必要な補修も急がれます。食の安全を守るため、そして命と健康を守る都政改革へ、全力をあげます。



都議会議員（江東区選出）

あぜがみ みわこ

あぜ上三和子

日本共産党

東京民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471

2016年12月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可